

親と子、水泳で真剣勝負

◎好藤小学校親子水泳大会



好藤小学校親子水泳大会が8月31日、好藤小学校プールで行われ、児童と保護者、教員、好藤ヤングクラブ会員ら約60人が参加しました。オープニングを飾った北京オリンピック記念特別演技では、女性保護者と教員有志が、シンクロを取り入れた創作ダンスを披露。美しい足技や豪快な回転が決まると会場から盛大な拍手が送られました。



続いて行われた開会式では、行定一義さん、公平くん親子が「日頃の努力を生かし正々堂々と戦うことを誓います。子どもに負けないよう頑張ります」と力強く選手宣誓。小学生相手に負けるわけがないと自信たっぷりの保護者でしたが、いざ競技が始まると、水泳練習で鍛えられた小学生に大苦戦。各種目で保護者と児童、教員と児童の対決が実現し、互いに対抗心を燃やして熱戦を繰り広げました。ほとんどの競技がゴールまでもつれる接戦となりましたが、最終種目の選抜リレーでは保護者チームが小学生チームを圧倒し、大人の意地を見せました。



22人が大人の仲間入り

◎平成20年度日吉地区成人式

20歳の門出を祝う日吉地区の成人式が日吉住民センターで開催され、スーツ姿や浴衣姿の新成人で賑わいました。今年の成人式には対象者22人のうち19人が出席。

大森時政日吉公民館長、松浦甚一町長のあいさつの後、新成人を代表して兵頭和樹さん(上鍵山)が謝辞を述べ、大人として自覚・責任を持つなど決意を新たにしていきました。式典終了後は、家族等からのビデオレターが上映されたほか、懇談会が設けられ、久しぶりに再開した友人や恩師と近況報告をしたり、思い出話に花をさかせたりするなど、楽しいひと時を過ごしていました。

4回目の挑戦で見事3位入賞

◎第13回ドラゴンボート大会



8月3日、大洲市肱川町でドラゴンボート大会が開催され、鬼北町のスポーツジム会員らで編成したTEAM SUPER K3(岡本宏史、清家一男、竹本敬三、舛森均、兵頭健生、本多友幸、西川慎一、杉本翔一、稲垣正典、二宮幸、毛利直人)が3位入賞を果たしました。この大会は、漕ぎ手

8人と舵取り、伴奏の10人でチームを編成し、ボートで450分のタイムを競うもので、予選には県内外から43チームが参加。TEAM SUPER K3は、全体の4位で予選を突破すると、決勝でも抜群のチームワークと粘り強さをみせ、予選タイムを上回る会心のレース運びで3位に輝きました。